

平成 17 年度

出 前 講 義



岡山商科大学

平成17年度出前講義のご案内

(高校生対象)

1. 申し込みができるのは

高等学校で、30名以上(1クラス単位以上)程度の聴講生が見込める場合とします。

2. 出講時期は

2005年度(平成17年度)中、全期間にわたって出講を予定しています。

3. 講義の内容は

次ページ以降の出前講義リスト・講義内容に記載しています。

4. 講義時間は

質疑応答を含め、1時限程度の構成です。
(別途ご希望の場合は、ご相談ください。)

5. 費用は

講師料等は、原則として無料です。ただし、講師への謝金、交通費を用意されている場合には事前にご連絡下さい。

なお、会場の手配、会場の設営および案内等に係わる事務作業や費用は高等学校側でお願いします。

6. 申し込みは

講義を開催しようとする日の3週間前までに、お申し込みください。(複数可)

なお、講師や業務の都合で日時の調整をお願いする場合があります。(ご要望に必ずしもお答えできないこともありますのでご了承ください。)

7. 申し込み方法は

巻末の「出前講義依頼書」をコピーし、Faxもしくは郵送にてお申し込みください。

(一科目、1枚でご記入ください。)

~問い合わせ先~

岡山商科大学 教務部 教務課

〒700-8601 岡山市津島京町2丁目10-1
Tel 代表 086-252-0642
Tel 直通 086-256-6653
Fax 086-256-6649
http:// www.osu.ac.jp

出前講義リスト

講義 番号	講義担当者	分野	講義名	頁
1	井上 倫明	教養	直立歩行と現代人の健康	1
2	岩橋 邦彦	"	体力づくりと健康	1
3	岸本 雅之	"	ベートーベン 第9交響曲の合唱の歌詞について	2
4	九鬼 一人	"	小論文書き方セミナー : 愛の形の変貌について	2
5	西中 恒和	"	考える方法・考える楽しみ	3
6	三宅 忠明	"	アイルランドの悲恋ロマンス「デアドラ」をめぐって	3
7	三宅 忠明	"	英語を学ぶ喜びと楽しみ	4
8	三宅 忠明	"	比較文化論 : 民話の国際性	4
9	山口 博幸	"	人はなぜ働くのか、就職について考える	5
10	大城 裕二	商学	ビジネスとリスク負担報酬説	5
11	岡田 浄二	"	「コミュニケーション」を考える	6
12	岡本 輝代志	"	「街づくりと店づくり」	6
13	富永 悦夫	"	世界と日本のつながり	7
14	鳥越 良光	"	マーケティングの新しい動き(波)	7
15	飯島 祥二	観光学	「景観環境整備と観光資源管理」	8
16	今井 成男	"	観光旅行について	8
17	捧 富雄	"	観光と社会 : 社会現象としての観光	9
18	柴田 雅行	"	観光と航空の関連について	9
19	直井 岳人	"	外国から見た観光地としての日本 : 観光地の魅力とその伝え方	10
20	市村 巧	会計学	会計の役割 : 将来、企業人をめざす人のために	10
21	川本 和則	"	私たちの暮らしと会計	11
22	堤 一浩	"	会計の必要性和新しい会計	11
23	森本 和義	"	コスト(原価)の話	12
24	中井 透	経営学	企業小説で学ぶ経営学入門	12
25	西 敏明	"	NASAから広がった食品の安全と質	13
26	有利 隆一	経済学	『若者と仕事・経済』	13
27	蒲 和重	"	経済? 私たちに関係あるの? : 金融論や証券市場論の基礎	14
28	河野 快晴	"	世界の中心で経済を学ぶ	14
29	喜田 栄次郎	"	現代の日本経済を生活者の立場から見ると	15
30	佐井 至道	"	視聴率について考える	15
31	多田 憲一郎	"	現代社会におけるNPOの可能性	16
32	田中 勝次	"	「思いやりの心」と「おもてなしの心」, どちらが地球にやさしい	16
33	両角 成広	"	経済史から見た近代社会	17
34	山下 賢二	"	恋愛とケータイの経済学	17

講義 番号	講義担当者	分 野	講 義 名	頁
35	伊藤 治彦	法学	法律学の学び方	18
36	大國 仁	"	犯罪から暮らしを守る : 警察・検察・裁判	18
37	小原 将照	"	「法学」体験	19
38	加藤 摩耶	"	児童虐待の現状と法的対応	19
39	倉持 弘	"	消費生活と契約	20
40	香山 忠志	"	暮らしと法律	20
41	下田 大介	"	契約締結における未成年者の保護	21
42	砂川 和泉	"	国際社会における法のかたちとはたらき	21
43	西浦 公	"	憲法の学び方	22
44	小松原 実	統計・情報	情報技術とネットワーク	22
45	田中 潔	"	おかやま統計と地理情報システム (GIS)	23
46	埜村 紳二	政治学	政治を考えるヒント	23

担当者	井上 倫明	講義名	直立歩行と現代人の健康	分野		教養	
(講義内容)							
<p>テレビや雑誌で可愛いロボットが歩いたり、踊ったりしているのを見たことがあると思います。なぜ、ニュースになるほど人に似たロボットの動きをTVで取り上げるのでしょうか。そこには、コンピュータを駆使しても人と同じような動きをするには工学的に複雑で困難なメカニズムが必要だからです。一方、「人が歩く」ことについて考えて見たことがありますか。人は、生後約10～12ヶ月で立ち上がりやがて歩行能力を身につけます。そして、日常の主な移動手段として歩行を行います。このなげない能力に視点をあてるとそこには、人類の進化の過程、人がたどった文明や生活様式の変化が見えてきます。そして、知っておきたいのは、人の生命維持メカニズムが歩行には隠されていることです。</p> <p>この講義は以下のことを骨子として展開します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 直立歩行の歴史(進化) 2. 直立歩行で得たもの(文明) 3. 直立歩行の負担(生活様式) 4. 直立歩行と生命維持(メカニズム) 5. 直立歩行と現代人の健康(健康) 							
(担当者プロフィール)							
<p>所 属 : 商学部・商学科</p> <p>主な担当科目: 健康教育論、健康教育実践、スポーツ実践、教養演習</p> <p>研究テーマ : 地域社会における傷害スポーツの推進と発展</p>							

担当者	岩橋 邦彦	講義名	体力づくりと健康	分野		教養	
(講義内容)							
<ol style="list-style-type: none"> 1) 健康とは …… 健康・半健康・不健康 2) セルフコントロールとは …… 医者主体型から患者主導型へ 3) 日常に簡単にできる健康チェック …… 体重・血圧・脈拍など 4) 体力とは何か …… 行動体力と防衛体力 5) 体力づくりの原理・原則について …… 特異性など 6) 運動処方について …… 準備運動・主運動・整理運動とは 							
(担当者プロフィール)							
<p>所 属 : 商学部・会計学科</p> <p>主な担当科目: 健康教育論、健康教育実践、スポーツ実践</p> <p>研究テーマ : 体力づくりと健康、スポーツ心理学</p>							

担当者	岸本 雅之	講義名	ベートーベン 第9交響曲の合唱の歌詞について	分野	教養
(講義内容)					
<p>ベートーベンは1790年ごろ、劇詩人Fr. シラーの頌歌「歡喜に寄せる (原題: An die Freude)」に出会い、これに曲を付けたいと考えました。その思いは30年後に、彼の音楽のひとつの総決算ともいえる第9交響曲の第4楽章に合唱として取り入れることによって実現されました。交響曲の中に合唱を入れることは交響曲の歴史において初めてのことであったといえます。この間の長い年月を思うと、シラーの詩のどこにベートーベンがそれほどまでに関心をもったのか、どんな感動があったのか、興味のあるところです。</p> <p>毎年師走が近づくと恒例行事のように第9が演奏され、合唱も高らかに演奏されます。それが心からの喜びの表現であるということには間違いないことと思われませんが、一度、シラーの詩にもどって、合唱の歌詞を考えてみることも無駄ではないかもしれません。ドイツ語の原詩の発音をカタカナで付けて、歌ってみてはいかがでしょうか。</p>					
(担当者プロフィール)					
<p>所 属 : 商学部・会計学科</p> <p>主な担当科目: ドイツ語</p> <p>研究テーマ : 近代ドイツ文学</p>					

担当者	九鬼 一人	講義名	小論文書き方セミナー : 愛の形の変貌について	分野	教養
(講義内容)					
<p>小論文の書き方のつぼを教えます。キムタクのドラマやマンガ「あさきゆめみし」を題材にして、愛という高校生諸君にも身近な主題に即し、小論文の書き方を細かく指南します。とはいえ、一番重要なのは「常に自分に対する反論を仮想すること」に尽きると考えます。講義後、生態系への愛のあり方に関する簡単なレポートを課します。後日、それについて個人別の講評を電子メールで返送し、ホームページ http://www.osu.ac.jp/~kazuto/ 上でサポートします。アフターケアは万全。</p>					
(担当者プロフィール)					
<p>所 属 : 法学部・法学科</p> <p>主な担当科目: 思考の論理的形式・科学と哲学・こころの哲学・哲学概論・法と論理・教養演習</p> <p>研究テーマ : 新カント学派の価値哲学・行為の理由理論</p>					

担当者	西中 恒和	講義名	考える方法・考える楽しみ	分野	教養
(講義内容)					
<p>本来、体を動かしてスポーツしたり、ダンスすることが楽しいのと同様に、頭を動かして考えることは楽しいことです。勉強することの楽しみはまさに自分の頭で「考える」ことにあるといっても過言ではないでしょう。筋道を立てて考え、揺ぎ無い結論に到達することができたとき、その喜びは何ものにも替え難いものです。</p> <p>本講義では、「考える」ことの意味から説き起こし、抽象的なことを具体的に、具体的なことを抽象的・一般的にとらえて考える方法とその楽しみについて例示的に考察していきます。その際、結論に早く至るための技術論(描いてみる、ファイルする等)ではなく、むしろ時間をかけた試行錯誤を通して結論にたどり着く楽しみを重視したいと思います。</p> <p>また、考えることによって陥り易い落とし穴や誘惑にも目を向け、自ら考えを進める上での注意点や人の考えを聞くときの注意点についても考えていきたいと思います。</p>					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 考えるサル 2. 考えてみよう。2つの問題 3. 抽象的と具体的 4. どのように考えるか、考え方、方法 5. モノマネ、アナロジー 6. 最低限必要なこと 7. 面積、長さ 8. カオス 9. 抽象的・一般的にとらえる 10. 落とし穴 					
(担当者プロフィール)					
<p>所 属 : 商学部・商学科</p> <p>主な担当科目: 数学</p> <p>研究テーマ : Burnside 群及びその群環の半原始性</p>					

担当者	三宅 忠明	講義名	アイルランドの悲恋ロマンス「デアドラ」をめぐって	分野	教養
(講義内容)					
<ol style="list-style-type: none"> 1 ケルトの神話・伝説 <ol style="list-style-type: none"> (1) ケルトとは (2) 伝承文芸とは (3) 神話・伝説・民話の定義 2 悲恋ロマンス「デアドラ」 <ol style="list-style-type: none"> (1) 「デアドラ」物語のあらすじ (2) 研究資料(文献・伝承・作品) (3) 研究の歴史および方法 3 アイルランド文芸復興と「デアドラ」伝説 <ol style="list-style-type: none"> (1) 文芸復興運動の内容 (2) 文学運動の影響と成果 (3) 「デアドラ」伝説の位置づけ 4 「デアドラ」伝説と文学作品 <ol style="list-style-type: none"> (1) 作品年表 (2) 作品間の影響関係 (3) 代表的作品の解題 5 まとめ 文学と人生 <ol style="list-style-type: none"> (1) 文学の社会的・政治的影響 (2) 文学と人生 (3) よき人生のために 					
(担当者プロフィール)					
<p>所 属 : 商学部・商学科・ビジネスコミュニケーション専攻</p> <p>主な担当科目: 比較文化論、外国文学、各種演習</p> <p>研究テーマ : 民間の国際比較、アイルランドの神話と伝説</p>					

担当者	三宅 忠明	講義名	英語を学ぶ喜びと楽しみ	分野		教養	
(講義内容)							
1 英語学習の目的							
(1) 実用のため							
(2) 各種試験・資格取得のため							
(3) 知的訓練・教養のため							
2 役に立つ英語とは							
(1) 今役に立つ英語							
(2) 明日役に立つ英語							
(3) 一生役に立つ英語							
3 効率的な学習法							
(1) 知的関心を広く							
(2) バランスよい学習法を							
(3) 只管(しかん)音読の効果							
4 大学での英語学習							
(1) 大学とは何か? J. H. ニューマン『大学の理念』							
(2) 研究の道具(Tool)としての英語							
(3) TOEFLやTOEIC取得のために							
5 まとめ							
(1) 英語を学ぶ喜びと楽しみ							
(2) 一生の財産としての英語							
(3) よき人生のために							
(担当者プロフィール)							
所 属 : 商学部・商学科・ビジネスコミュニケーション専攻							
主な担当科目: 比較文化論、外国文学、各種演習							
研究テーマ : 民間話の国際比較、アイルランドの神話と伝説							

担当者	三宅 忠明	講義名	比較文化論 : 民話の国際性	分野		教養	
(講義内容)							
1 民話とは何か							
(1) 伝承文芸とは							
(2) 神話・伝説・民話(民間話)の定義							
(3) 民話の特性と本質							
2 民話の国際性							
(1) 「国際性」の定義							
(2) 国際比較研究の歴史							
(3) 比較研究の方法							
3 比較研究の題材							
(1) 「シンデレラ」							
(2) 「浦島伝説」							
(3) 「桃太郎」							
(4) 「羽衣伝説」							
(5) 「三枚の札」							
(6) その他							
4 まとめ							
(1) 民話に学ぶ(人生の教科書)							
(2) 比較研究と国際理解							
(3) よき人生のために							
(担当者プロフィール)							
所 属 : 商学部・商学科・ビジネスコミュニケーション専攻							
主な担当科目: 比較文化論、外国文学、各種演習							
研究テーマ : 民話の国際比較、アイルランドの神話と伝説							

担当者	山口 博幸	講義名	人はなぜ働くのか、就職について考える	分野	教養
(講義内容)					
<p>「自分は進学するので、就職は関係ない」という人がいるかもしれませんが。でも、いずれ考えなければならぬこととなります。今のうちから就職や職業について考えておくことは、進学先を選ぶ際にも役立ちます。</p> <p>さて、働く若者にとって状況は厳しいものになっています。「すぐ辞める」「正社員になろうとしない、あるいは、なれない」「学校卒業したのに、アルバイトみたいなことしている」「学校もいってないし、働いてもいないし、職安にもいってない」 いずれも、若者をさして非難がましく、よく言われることでしょう。高校生諸君も、いやになっているかもしれない。就職しないで生きていけないか、と。一方的に責められているようだが、いったい雇用問題を発生させた責任はどこにあるのだろうか。企業等の職場の仕組みをすこし勉強しよう。</p> <p>仕組みを知ったところで、どうも、働くってことは辛くて悲しいことも多いことには変わりはないようだ。でも、働いていると3ついいことがある。それは何か？ 出席者だけにお話しします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 若年雇用問題 「七五三離職」「高い失業率」「フリーター」「ニート」 2. 雇用問題の責任者は誰か 雇う側(会社)と雇われる側(社員) 3. でも、ちゃんと働いていると3ついいことがある 4. これからの社会と職場と働き方 					
(担当者プロフィール)					
<p>所 属 : 商学部・商学科</p> <p>主な担当科目: 経営学、労務管理論</p> <p>研究テーマ : 企業の戦略・組織、人事に関する研究</p>					

担当者	大城 裕二	講義名	ビジネスとリスク負担報酬説	分野	商学
(講義内容)					
<p>RMI : リスクマネジメントと保険</p> <ol style="list-style-type: none"> 1: 不確実性への対応 : 生活、企業活動 2: リスク、ベリル、ハザード、イクスポージャー(リスク関係概念)の意味 3: リスクマネジメント・プロセス : 対応の段階 4: リスクの処理 : 対応手段の内容と分類 5: リスク対応の新しい動き : ART(代替的リスク転嫁) <p>以上の項目を簡単な内容にしてお話し致します。</p>					
(担当者プロフィール)					
<p>所 属 : 商学部・商学科</p> <p>主な担当科目: ビジネス概論 ・、保険論 ・、リスクマネジメント論 ・、研究演習、基礎演習</p> <p>研究テーマ : 企業における信用リスク管理の意義と手法—とくに信用リスクを担保する保険の機能形態を中心として—</p>					

担当者	岡田 浄二	講義名	「コミュニケーション」を考える	分野	商学
(講義内容)					
<p>「コミュニケーション」という言葉は、いろいろな生活場面で使われています。人と人とのコミュニケーションをはじめ、インターネット・ケイタイによるコミュニケーション、テレビや新聞などのマスコミュニケーション、国際化が進み、文化の違う人達同志のコミュニケーションなどなどです。</p> <p>この講義では、「コミュニケーション」とは何かを考え、コミュニケーションを効果的にするにはどうしたらよいか、又文化の違う人達とのコミュニケーションで心掛けることは何かなどを学びます。</p>					
<p>1、コミュニケーションとは何か</p> <p>2、対人関係コミュニケーション</p> <p>3、言葉以外のコミュニケーション技法</p> <p>4、異文化コミュニケーション</p> <p>5、コミュニケーション力を高めるには</p>					
(担当者プロフィール)					
<p>所 属 : 商学部・商学科</p> <p>主な担当科目: 国際マーケティング論、マスコミ論、コミュニケーション論、研究演習、基礎演習</p> <p>研究テーマ: 自動車業界のグローバル・マーケティング、高齢化社会とコミュニケーション、顧客満足度と関係性のマーケティング</p>					

担当者	岡本 輝代志	講義名	「街づくりと店づくり」	分野	商学
(講義内容)					
<p>1. 生活者にとって街は舞台</p> <p>2. 街づくりと居住性</p> <p>3. 街づくりの主役は商業</p> <p>4. 店づくりは商業の鏡</p> <p>5. 店づくりによる商業の学習</p>					
(担当者プロフィール)					
<p>所 属 : 商学部・商学科</p> <p>主な担当科目: 商業学総論、広告論、商業経営論、ホテル計画論、基礎演習、研究演習</p> <p>研究テーマ: 環境重視型商業経営の体系化、商業経営の空間的アプローチの体系化、離島における地域振興</p>					

担当者	富永 悦夫	講義名	世界と日本のつながり	分野	商学
<p>(講義内容)</p> <p>第2次世界大戦後、日本経済は目覚ましい飛躍を見せたが、それを推進した要因の一つに「国際貿易」と「海外投資」があげられる。</p> <p>本講義では貿易の成り立ちと、それが日本経済にどのような影響を与えたかまた、円高の進展が日系企業の海外投資どのような影響を及ぼしたかを、時系列的に捉えて分かりやすく説明することにより、海外への関心を高めてゆきたい。</p> <p>1. 貿易取引はどのようにして成り立つのか</p> <p>(比較労働価値説から比較優位と絶対優位へ)</p> <p>2. 日本の国際貿易(円高克服の歴史)</p> <p>3. 日本の海外投資(特に円高との関係)</p> <p>4. 海外への関心を高めよう。</p>					
<p>(担当者プロフィール)</p> <p>所 属 : 商学部・商学科</p> <p>主な担当科目: 国際企業論、商業英語、エリア研究(アジア)</p> <p>研究テーマ : 日系企業の中国投資</p>					

担当者	鳥越 良光	講義名	マーケティングの新しい動き(波)	分野	商学
<p>(講義内容)</p> <p>1. マーケティングとは何か</p> <p>2. マーケティングは企業の成長に役立つか</p> <p>3. マーケティングはどんなに進化しているか</p> <p>1) マス・マーケティングからワン・トゥ・ワン・マーケティングへ</p> <p>2) 間接マーケティングから直接マーケティングへ</p> <p>3) ビフォア・・マーケティングからアフター・マーケティングへ</p> <p>4) マーケット・シェアからカスタマー・シェア</p> <p>4. マーケティングは私達の生活にどんな影響をあたえているか</p>					
<p>(担当者プロフィール)</p> <p>所 属 : 商学部・商学科</p> <p>主な担当科目: マーケティング論、消費者政策論、商業特殊講義、研究演習</p> <p>研究テーマ : 過疎地域の商業問題、福祉商業の研究、マーケティング戦略、消費者問題</p>					

担当者	飯島 祥二	講義名	「景観環境整備と観光資源管理」	分野	観光学
(講義内容)					
<p>近年、中四国の各自治体は、インバウンド重視の観光政策を具体化し、海外からの観光客誘致を促進しようとしている。このような、観光政策の変化は観光資源管理にも多様な影響を与えている。</p> <p>このような観光地を取り巻く環境変化の内、本講義は景観に関する観光資源管理の手法の成熟化や景観資源の質的变化を論じる。本講義の目的は、今後のわが国の観光資源のあり方を考える糸口を諸君とともに考えることである。</p>					
(担当者プロフィール)					
<p>所 属 : 商学部・商学科</p> <p>主な担当科目: コンピュータ処理 ・、生活環境論 ・、観光資源論 ・、景観論、観光サービス実習 ・、研究演習、基礎演習</p> <p>研究テーマ : 都市環境学、都市環境政策学及び観光環境学</p>					

担当者	今井 成男	講義名	観光旅行について	分野	観光学																																
(講義内容)																																					
<p>1. わが国旅行市場の実態</p> <p>2. 国内観光旅行市場</p> <table border="0"> <tr> <td>(1) 参加率</td> <td>(2) 参加回数</td> <td>(3) 実施月</td> </tr> <tr> <td>(4) 目的地</td> <td>(5) 出発日</td> <td>(6) 主な目的</td> </tr> <tr> <td>(7) 行動</td> <td>(8) 同行者</td> <td>(9) 利用交通機関</td> </tr> <tr> <td>(10) 利用宿泊施設</td> <td>(11) 宿泊数</td> <td>(12) 旅行費用</td> </tr> <tr> <td>(13) 旅行動機</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>3. 海外観光旅行市場</p> <table border="0"> <tr> <td>(1) 人口学的実態</td> <td>(2) 旅行先・旅行タイプ</td> <td>(3) 行動</td> </tr> <tr> <td>(4) 同行者</td> <td>(5) 旅行費用</td> <td>(6) 旅行日数</td> </tr> <tr> <td>(7) 実施月</td> <td>(8) 経験</td> <td>(9) 阻害要因</td> </tr> </table> <p>4. さまざまな観光旅行の実態(希望に応じて)</p> <table border="0"> <tr> <td>(1) 修学旅行</td> <td>(2) 新婚旅行</td> <td>(3) 卒業記念旅行(ソツキ)</td> </tr> <tr> <td>(4) OLの観光旅行</td> <td>(5) 家族旅行</td> <td>(6) 熟年の観光旅行</td> </tr> </table> <p>5. 観光旅行の将来</p> <table border="0"> <tr> <td>(1) 国内観光旅行</td> <td>(2) 海外観光旅行</td> </tr> </table>						(1) 参加率	(2) 参加回数	(3) 実施月	(4) 目的地	(5) 出発日	(6) 主な目的	(7) 行動	(8) 同行者	(9) 利用交通機関	(10) 利用宿泊施設	(11) 宿泊数	(12) 旅行費用	(13) 旅行動機			(1) 人口学的実態	(2) 旅行先・旅行タイプ	(3) 行動	(4) 同行者	(5) 旅行費用	(6) 旅行日数	(7) 実施月	(8) 経験	(9) 阻害要因	(1) 修学旅行	(2) 新婚旅行	(3) 卒業記念旅行(ソツキ)	(4) OLの観光旅行	(5) 家族旅行	(6) 熟年の観光旅行	(1) 国内観光旅行	(2) 海外観光旅行
(1) 参加率	(2) 参加回数	(3) 実施月																																			
(4) 目的地	(5) 出発日	(6) 主な目的																																			
(7) 行動	(8) 同行者	(9) 利用交通機関																																			
(10) 利用宿泊施設	(11) 宿泊数	(12) 旅行費用																																			
(13) 旅行動機																																					
(1) 人口学的実態	(2) 旅行先・旅行タイプ	(3) 行動																																			
(4) 同行者	(5) 旅行費用	(6) 旅行日数																																			
(7) 実施月	(8) 経験	(9) 阻害要因																																			
(1) 修学旅行	(2) 新婚旅行	(3) 卒業記念旅行(ソツキ)																																			
(4) OLの観光旅行	(5) 家族旅行	(6) 熟年の観光旅行																																			
(1) 国内観光旅行	(2) 海外観光旅行																																				
(担当者プロフィール)																																					
<p>所 属 : 商学部・商学科</p> <p>主な担当科目: 観光経営論 ・、旅行産業論 ・、観光サービス実習 ・、観光学特殊講義 ・、研究演習、基礎演習</p> <p>研究テーマ : 現代観光史</p>																																					

担当者	榑 富雄	講義名	観光と社会 : 社会現象としての観光	分野	観光学
(講義内容)					
<p>「かわいい子には旅をさせる」ということわざがあるように、旅は人を成長させると考えられています。中学や高校でも、普段の授業や学校生活では得にくい体験や知識を得るために修学旅行を実施する学校が多いと思います。この他に、皆さん方はこれまでにいろいろな旅行をしていると思います。小さいときには家族で旅行した方も多いでしょう。中学や高校では修学旅行に行ったと思います。クラブの合宿や、友達同士での旅行、あるいは一人旅をした人もいます。そうした旅行によって、皆さんは何らかの影響を受けたのではないのでしょうか。こうした旅行・旅はすべて「観光」に含まれます。「観光」というと、どこかを見に行くことと考えるかもしれませんが、広い意味で言うと、楽しい時間を過ごす旅行はすべて「観光」に含まれるのです。それでは「観光」は、旅や旅行する各個人に対して影響をあたえるだけのものなのでしょうか。</p> <p>皆さん方も新聞などで「観光客が減って地域経済に大打撃」などというニュースを見たり読んだりしたことがあるかもしれません。また、皆さん方が住んでいるまちにも、他の地域から人々が訪れて、「良い所だね」とほめたりしているかもしれません。自分の住んでいるまちをほめられると、誇らしい気持ちになるのではないのでしょうか。さらには、ご両親や親戚・知合いの方が、そうした外から来る人々(観光客)を相手にした仕事に就いている人もいるかもしれません。このように、「観光」は、旅や旅行をする人だけではなく、観光地の人々にもいろいろな面で影響を及ぼしています。さらに、旅や旅行する人にも、それらの人々を迎え入れる地域の人々にも影響を及ぼすということになると、「観光」はひとつの社会現象として捉えることができます。すなわち、「観光」は社会のいろいろなことに影響するとともに、社会全体の動きも「観光」に影響しているといえます。大学で「観光」を学ぶということは、将来、旅行会社やホテルなどで働くための知識・技術を身に付けるということだけではなく、「観光」という現象を通して社会の動きをみる眼を養うということにもなるわけです。こうした視点から、「観光」に関してお話ししたいと思います。</p>					
(担当者プロフィール)					
<p>所 属 : 商学部・商学科</p> <p>主な担当科目: 観光地計画論、観光学概論、研究演習</p> <p>研究テーマ : 観光事業による地域振興</p>					

担当者	柴田 雅行	講義名	観光と航空の関連について	分野	観光学
(講義内容)					
<p>日本の観光産業は戦後の経済復興とともにめざましい発展を遂げてきた。さらに、最近においては小泉首相自らが先頭に立って日本の観光立国宣言を行い、外国から多数の観光客を誘致して日本経済の活性化を図ろうとしている。</p> <p>本講義においては、観光との深い係わりをもつ航空産業との関連性をみてゆくことにより観光産業の発展の要因を説明してゆきたい。</p>					
(担当者プロフィール)					
<p>所 属 : 商学部・商学科</p> <p>主な担当科目: 国際交通論、航空産業論、観光学特殊講義、研究演習、基礎演習</p> <p>研究テーマ : CS経営</p>					

担当者	直井 岳人	講義名	外国から見た観光地としての日本:観光地の魅力とその伝え方	分野	観光学
(講義内容)					
<p>この講義では、「複雑で漠然とした」「旅行出発前に実際に手にとって確かめることができない」観光地の魅力、及びその伝達方式について考えます。</p> <p>具体的には、</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国人観光客にとっては、日本のどのような要素が観光地としての魅力になり得るのか。 外国には、どのような日本の観光地としてのイメージが伝わっているのか。 日本の観光地としてのイメージは、誰によって、どのような経路で伝わっているのか。 伝えられた日本の観光地としてのイメージを、受け手はどのように受けとめる可能性があるのかという論点に沿って、 ・日本の政府観光局(JNTO)海外宣伝ビデオ ・日本の旅行会社/航空会社が海外で発行する旅行パンフレット ・海外の旅行会社/航空会社が発行する日本行きの旅行商品のパンフレット ・海外の新聞/雑誌記事 ・講義担当者自身の海外在住経験 <p>等を紹介しながら話しを進めます。</p> <p>尚、この講義のトピックスに関連する主な学問分野としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心理学 ・地理学 ・文化人類学 ・広告/コミュニケーション ・観光政策 <p>等が挙げられます。生徒の皆さんの反応や講義の進行状況を考慮しながら、可能であれば、この講義とこれらの学問分野の関連についても言及したいと思います。</p> <p>限られた時間ではありますが、生徒の皆さんとざっくばらんに意見交換ができる、楽しい講義をすることができればと考えています。</p> <p>*大変お手数ですが、各学校様におきまして、プロジェクタ(パンフレットを映写できるもの)及びビデオデッキをお借りできれば幸いです。</p>					
(担当者プロフィール)					
所 属 :	商学部・商学科				
主な担当科目:	国際観光論、観光学原論、観光英会話、観光サービス実習				
研究テーマ:	観光地のイメージ/魅力の測定				

担当者	市村 巧	講義名	会計の役割 : 将来、企業人をめざす人のために	分野	会計学
(講義内容)					
<p>高校生の皆さんは、「会計」という言葉を聞いて何をイメージしますか？会社の経理マンの姿？それとも会計士とか税理士といった会計の専門家？でも会計には、皆さんが想像する以上に、もっと広く、もっと普遍的な役割があります。</p> <p>たとえば、皆さんがどの大学のどの学部へ進んだとしても、卒業後は、大半の人が一般の企業に就職するでしょう。企業の目的は、社会に役立つ製品やサービスを提供し、その見返りとして利益を得ることにあります。したがって、企業には必ずお金がついてまわります。そしてお金があるところには、「会計」も必ずついてまわるのです。</p> <p>とすれば、いつか企業人になる皆さんは、いつか必ず「会計」の知識が求められることになります。係長から課長へ、課長から部長へと、ポストが上になればなるほど、「会計」の知識がますます必要とされます。会計は決して一部の専門家だけのものではないのです。「会計がわからんで経営はできない」からです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 経営者の使命と会計の使命 2 経営会計のすすめ 3 なぜ会社は倒産するのか 4 会計革命(会計ビッグバン) 					
(担当者プロフィール)					
所 属 :	商学部・会計学科				
主な担当科目:	簿記論、会計学、経営分析論				
研究テーマ:	財務会計論、特に資金会計論				

担当者	川本 和則	講義名	私たちの暮らしと会計	分野	会計学
(講義内容)					
<p>新聞やテレビのニュースでは、「ある企業の利益がいくらになった」という話題をしばしば伝えています。そのような事柄は、一見、私たちとは無関係に思えます。では、なぜ、企業の利益計算が新聞等で取り上げられ、社会の人々に広く伝えられるのでしょうか。</p> <p>企業の利益計算は私たちの暮らしと無関係ではありません。企業の利益計算の結果は、その企業の関係者だけでなく、社会全体にとって、非常に重要な意味をもつものです。</p> <p>この講義では上記の事柄を中心に、会計学で学習する内容、会計のおおまかな仕組み(会計制度や会計基準)、および会計に関する職業(税理士や公認会計士)等についても講義をする予定です。</p>					
(担当者プロフィール)					
<p>所 属 : 商学部・会計学科</p> <p>主な担当科目: 簿記論 ~</p> <p>研究テーマ : アメリカ会計理論の変遷、および国際会計基準論</p>					

担当者	堀 一浩	講義名	会計の必要性和新しい会計	分野	会計学
(講義内容)					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 始めて会計の話しを聞く人のために 2. 日常生活における会計の必要性 3. ビジネス社会と会計の関係 <ul style="list-style-type: none"> ・ 決算報告書(財務諸表) ・ 経営者と会計 ・ 投資家と会計 ・ 税金と会計 ・ 金融機関(銀行)と会計 4. 会計のプロ(専門家) <ul style="list-style-type: none"> ・ 公認会計士 ・ 税理士 ・ 国税専門官 5. 株式会社などの組織と会計 <ul style="list-style-type: none"> ・ 株式会社と会計 ・ 病院や学校法人の会計 ・ 国や地方自治体と会計 6. 会計と法律の関係 7. 新しい会計と会計の国際化 					
(担当者プロフィール)					
<p>所 属 : 商学部・会計学科</p> <p>主な担当科目: 財務諸表論</p> <p>研究テーマ : 現代年金会計論</p>					

担当者	森本 和義	講義名	コスト(原価)の話	分野	会計学
(講義内容)					
<p>この講義では、モノの原価(コスト)についてお話しします。今、コンビニエンス・ストアに買い物にやって来たとします。もちろん、このストア(お店)の棚には、いろいろなモノ(商品)が並べられていることでしょう。手に取ったチョコレートの売り値が、すなわち売価が、1枚100円であったとします。また、このストア(お店)の店長が、チョコレートを作っている会社(メーカー)から、1枚80円の買い値でチョコレートを仕入れてきていたとします。すなわち、仕入原価が1枚80円であったとします。この場合には、もしチョコレート1枚が売れば、売価から仕入原価を差し引いて、計算すれば100円 - 80円 = 20円ということで、チョコレート1枚当たり20円の利益(もうけ)ということになります。しかし、店長は損を覚悟で、明日、この仕入原価80円のチョコレートを1枚70円で安売りしようとしています。確かに、1枚売れば10円の損(赤字)となりますが、もしチョコレートを買ってくれたお客さんが、ペットボトルのお茶もいっしょに買ってくれば、少し様子が変わってきます。ペットボトルのお茶は、仕入原価が1本100円で、売価が140円の商品です。1本売れば、40円の利益(もうけ)となります。チョコレート1枚売れば、確かに10円の損をしますが、しかし、ペットボトルのお茶では40円の利益(もうけ)が得ます。すなわち、チョコレートでの損を、お茶の利益でカバーすることができるのです。チョコレートを目玉商品として安売りしたとしても、もしお客さんがチョコレート以外の商品を買っていったら、店全体としては利益(もうけ)を生み出すことができるのです。他方で、チョコレートを作っている会社(メーカー)はどうでしょうか。コンビニエンス・ストアに1枚80円の価格で売るので、80円よりも安い値段でチョコレートを作らないと、利益(もうけ)がでないこととなります。すなわち、チョコレート1枚の製造原価を、80円以下におさえないと損をすることになるのです。チョコレートの会社は、製造原価を引き下げるために、懸命に努力することでしょう。製造原価は、ふつう材料費、労務費、経費の3つの要素からなっています。製造原価の詳しい説明と製造原価の計算方法については、講義でお会いしたときに、お話しすることにしましょう。もし、よろしければ、個別原価計算、総合原価計算、標準原価計算、直接原価計算、損益分岐点分析など、希望する講義内容をお申し出ください。</p>					
(担当者プロフィール)					
所 属 :	商学部・会計学科				
主な担当科目 :	工業簿記、原価計算論、管理会計論				
研究テーマ :	原価計算技法の国際比較、ドイツ管理会計史				

担当者	中井 透	講義名	企業小説で学ぶ経営学入門	分野	経営学
(講義内容)					
<p>企業の経営行動や優れた経営者、あるいはそうしたものに影響を与える日本経済の動きに焦点を当てたものとして「企業小説」と呼ばれるジャンルの小説があります。本講義では、こうした企業小説での描写を題材として用い、「経営学」とはどんなことを学ぶ学問なのか、「経営学」を学ぶことの意義はどこにあるのかなどといったことについて、できる限り平易に話を進める予定です。題材として用いる企業小説のみならず、楽しめそうな小説も多数紹介したいと思います。後日各人で映画化されたもののビデオを見るもよし、文庫本を購入して読破してみるのもよし。そうした過程で、会社、経営、組織人等々といったことに興味を持ち始めれば更によし。限られた時間内で「経営学の魅力」を伝えきことは不可能ですから、経営学に興味・関心を寄せてもらうきっかけにしたいというのが、本講義のコンセプトです。</p>					
(担当者プロフィール)					
所 属 :	商学部・商学科				
主な担当科目 :	経営戦略論、財務管理論、基礎演習、研究演習				
研究テーマ :	経営学(財務管理、ベンチャービジネス、M&A、経営戦略)				

担当者	西 敏明	講義名	NASAから広がった食品の安全と質	分野	経営学
(講義内容)					
<p>最近、食品の安全や品質が注目されています。以前は、給食や食堂、家庭での食中毒の問題が中心でしたが、今日では、その食品を製造している企業の存続にまで多大な影響を及ぼす問題になっています。</p> <p>本講義では食品の安全の立場から、食品関係の事業に参入している企業の物づくり(食品製造)のシステムと継続的な品質の作り込みについて理解を深めてもらおうと思います。</p> <p>なお、以下のことを中心に講義をします。</p> <p>食品安全のシステムの始まりはNASA(米航空宇宙局)のアポロ計画から 食中毒の発生、そしてそれを防ぐには？ 最近気になる略語・・・HACCPってなんのこと？・・・企業にどんな影響があるの？ ファーストフードとスローフードの特徴 目で見えない菌を増やさないためのシステム作り 食品製造の安全と品質の維持は？ 食品のトレーサビリティによる安全 徹底した食品の安全管理は、食品関連企業にとって企業の経営におよぼす重大事</p>					
(担当者プロフィール)					
<p>所 属 : 商学部・商学科</p> <p>主な担当科目: 経営統計学 ・ 、応用情報処理 ・ 、情報システム技術、情報と職業</p> <p>研究テーマ : 品質経営における感性・官能評価側面について</p>					

担当者	有利 隆一	講義名	「若者と仕事・経済」	分野	経済学
(講義内容)					
<p>毎年、多くの若者が学校から社会へと巣立ち、生産、消費、社会負担の新たな担い手となる。若者が、どのような働き方を選択し、経済社会でどのような役割を果たしているかを考える。 (なお、フリーターやニートを中心として講義することも可能)</p>					
(担当者プロフィール)					
<p>所 属 : 経済学部・経済学科</p> <p>主な担当科目: 経済学 ・ 、労働経済論 ・ 、基礎演習、研究演習</p> <p>研究テーマ : 失業と雇用政策、職業能力開発</p>					

担当者	蒲 和重	講義名	経済？私たちに関係あるの？：金融論や証券市場論の基礎	分野	経済学
(講義内容)					
<p>「今日の日経平均株価は1万・・・円です」とか「ニューヨーク円はただいま・・・円です」などなど、日々のニュースの中ではよく耳にするけど、なんとなく私たちの生活には関係ないような気がします。でも、ほんとうは私たちにも大いに関係する結構重要な問題なのです。そこで、「株価」とか「為替レート」などの言葉をキーワードにして、大学での「金融論」や「証券市場論」といった科目で解説される基礎を講義します。なお、講義にはPower Pointを用いて、できるだけ大学での講義に近づけた形のビジュアルでも理解できるものでおこないます。</p>					
(担当者プロフィール)					
<p>所 属 : 商学部・商学科</p> <p>主な担当科目: 証券市場論</p> <p>研究テーマ: 電子マネー等を含む決済手段あるいは貨幣の将来像と、銀行あるいは金融のありかたに関する考察</p>					

担当者	河野 快晴	講義名	世界の中心で経済を学ぶ	分野	経済学
(講義内容)					
<p>(a)フィンランドという国があります。サンタとムーミンで有名なフィンランドは、学習到達調査(2003年、主要41カ国・地域を対象としてOECDが実施)で「読解力」、「数学的応用力」で、それぞれ世界1,2位を獲得しました。ノキアというフィンランドの会社は携帯電話メーカーとして世界有数の企業です。日本ではシェアは低いのですが、世界的に有名な企業です。北欧の国が世界に躍り出た訳です。(b)かつての世界経済をリードしたイギリスに代わって今日「世界の工場」と呼ばれる中国。現在世界一のGDP(国内総生産)を誇るアメリカを抜いて中国が世界一の位置を獲得する日も今世紀半ばかと予測されています。(c)世界一のGMを追い抜こうと意気込む自動車会社トヨタ。かつて「Japan as No.1」として勢いのあった日本。バブル崩壊以降、苦難の道を歩む日本経済にあって輝くトヨタ。</p> <p>彼らの強さの秘密はどこにあるのでしょうか。世界の中で注目される国、企業。経済を中心にしながらも勢いあるものに学び、私たち一人一人のなかに生かしていきたいものと思います。世界の中心で生き、生きようとしている国、企業などについて学んでいきましょう。</p>					
(担当者プロフィール)					
<p>所 属 : 経済学部・経済学科</p> <p>主な担当科目: 金融制度論、経済学特殊講義、基礎演習、研究演習</p> <p>研究テーマ: 台湾の金融について、台湾の郵貯・財投制度などについて</p>					

担当者	喜田 栄次郎	講義名	現代の日本経済を生活者の立場から見ると	分野	経済学
(講義内容)					
<p>平成16年は米国、中国の好況に支えられて、日本企業の業績も上向き、雇用環境も改善され、実質国民所得(実質GDP)はプラス2%を超えると予想されています。このように、日本経済は長い平成不況から抜け出てよ、うやく回復基調にあると言われていますが、外国の経済状態にも左右されています。景気の状態(不況、回復、好況、後退など)を表す指標には、名目GDPや実質GDPの変化率、物価水準、雇用状況(完全失業率など)、株価の動きなど、多くのものがあります。</p> <p>この講義では、家族を中心として日々の生活をしている人間(これを生活者とここでは呼びます)の立場から、幾つかの側面を取り上げて、現代の日本経済を捉えてみましょう。経済は常に動いていますので、できるだけ最近の話題を中心にして講義を進めたいと考えています。</p>					
(担当者プロフィール)					
<p>所 属 : 経済学部・経済学科</p> <p>主な担当科目: 経済学、経済政策論、経済体制論、教養演習、特別演習、研究演習</p> <p>研究テーマ: マクロ分配理論、所得分配政策および所得分配の実証的研究</p>					

担当者	佐井 至道	講義名	視聴率について考える	分野	経済学
(講義内容)					
<p>2004年に放送されたテレビ番組の中で最も視聴率の高かった番組は、大晦日に放送された紅白歌合戦第2部でした。しかし、その視聴率は39.3%にとどまり、過去の紅白歌合戦の中では最低の視聴率に終わりました。一方で2005年に開催されている、サッカー・ワールドカップのアジア地区最終予選の試合では、39.3%を遥かに超える視聴率も記録されています。2005年大晦日の紅白歌合戦は果たして年間1位を獲得できるのでしょうか？</p> <p>高視聴率を稼ぐ番組は時代ごとに異なり、そのデータを眺めると、私たちの興味の対象はもちろん、ライフスタイルや考え方で分析できます。その一方で、高い視聴率を追求するあまり、調査されている世帯を買収する事件や、映像の中に瞬時の画像を挿入するサブミナル手法を用いる事件も後を絶ちません。</p> <p>そもそも視聴率とはどんなものなのでしょうか？どのような調べ方をしている、その結果から何が分かるのでしょうか？また、その結果はどのくらい信頼できるのでしょうか？どんな目的で視聴率を調べているのでしょうか？視聴率という身近な話題を切り口として、ビジネスにおける調査とデータ分析について考えてみたいと思います。</p> <p>この講義にはビジネス関連の要素も多分に含まれていますが、高校数学の中であまり取り上げられる機会のない(数理)統計の要素も含んでおり、複数の領域を融合した話題です。ただし数式を用いることはありませんので、数学を苦手としている生徒にもこのような話題にふれる良い機会だと思います。</p> <p>少人数の対話形式、大人数の講義形式、数人に1台程度のパソコン利用形式などに対応いたします。</p>					
(担当者プロフィール)					
<p>所 属 : 経済学部・経済学科</p> <p>主な担当科目: 経済統計論、統計学総論、市場調査論</p> <p>研究テーマ: 調査におけるサンプリング法の研究、個票データを公開する際のリスク評価の研究</p>					

担当者	多田 憲一郎	講義名	現代社会におけるNPOの可能性	分野	経済学
(講義内容)					
<p>(1) 日本におけるNPO登場の背景とその現状 転換期の日本の経済 NPO登場の背景 日本におけるNPOの現状 欧米におけるNPOとの比較</p> <p>(2) 現代社会におけるNPOの存在意義 NPOとは何か NPOとミッション</p> <p>(3) 今後のNPO制度の課題 財政基盤の確立 人材育成システムの確立 行政とのパートナーシップの確立 ボランティア文化の確立</p>					
(担当者プロフィール)					
所 属 : 経済学部・経済学科 主な担当科目: 地域経済論 ・ 地方財政論 ・ 財政学 ・ 研究演習 研究テーマ : 中山間過疎地域における行財政システムの分析と地域振興					

担当者	田中 勝次	講義名	「思いやりの心」と「おもてなしの心」, どちらが地球にやさしい	分野	経済学
(講義内容)					
<p>1998年の地球の年間平均気温は史上最高気温を記録しました。2004年は史上4番目の気温で、2005年は1998年を上回ると予想されています。温室効果ガスである二酸化炭素の排出がその原因といわれています。地球温暖化という環境問題に対処するためには、われわれ自身の意識を変革しなければなりません。われわれの行動を変化させるために、いかなる方策が考えられるでしょうか。個人の利得と社会全体の利得をともに最大化させるような仕組みを研究する分野はメカニズム・デザインと呼ばれ、ますます脚光を浴びつつあります。そこに光明を一投するのが経済学なのです。われわれが真剣に取り組まなければならない地球温暖化対策は、「誰がために鐘は鳴る」という問題に対する各人の対応であるかもしれません。講義の内容は次の通りです。</p> <p>1. なぜ環境問題の解決は難しいのか 2. 地球環境は誰のものなのか 3. 市場の活用 「思いやりの心」 4. 「三つのホテル」, 3R運動そして環境家計簿 「おもてなしの心」</p>					
(担当者プロフィール)					
所 属 : 経済学部・経済学科 主な担当科目: 国際金融論 ・ 経済数学 ・ 研究テーマ : 国際通貨の研究、通貨・金融危機の研究、国際証券投資と国際金融市場の相互作用に関する研究					

担当者	両角 成広	講義名	経済史から見た近代社会	分野	経済学
(講義内容)					
<p>1. 歴史学とはどのようなものか。 「暗記もの」、でしょうか？ 人名や事件や西暦年をやみくもに憶えること、でしょうか？ そのように思われていることが割と多いようですが、もしもそれだけのことなら、こんな楽な(?)勉強はありません。 また、理性ある大人が一生涯をかけて探求するに値するような研究対象になり得ようもありません。(とはいえ、たとえば、第1次世界大戦と日露戦争はどちらが先かぐらいは、「常識」として知っておかねばなりません。)では？</p> <p>2. 世界市場とは何か。 遠隔地間商業。商業資本の先行性と消費財市場。</p> <p>3. 産業革命とは何か。 機械・機械体系・産業資本の成立。 資本と賃労働。商品経済 = 市場経済の普遍化。</p> <p>4. 解釈 = 歴史像の転換。 わが国における西洋近代史研究の歩みと現状。</p>					
(担当者プロフィール)					
<p>所 属 : 経済学部・経済学科</p> <p>主な担当科目: 経済史概論 ・ 、西洋経済史 ・ 、西洋史 ・ 、基礎演習、研究演習</p> <p>研究テーマ : イギリス鉄鋼産業史、技術史および資本-賃労働関係発展史</p>					

担当者	山下 賢二	講義名	恋愛とケータイの経済学	分野	経済学
(講義内容)					
<p>経済学は、日常生活を送っている人間についての研究です。なにも、おカネや、景気の話だけではありません。実は、恋愛の問題だって、経済学で分析できるのです。この講義では、学生たちが繰り広げる恋愛物語と、ケータイの開発に関わる人たちの物語を通じて、経済や、経済学の考え方をお話ししたいと思います。</p> <p>今回、取り上げるのは、「ミクロ経済学」「マクロ経済学」「国際経済学」です。「ミクロ経済学」とは、ひとりひとりの人間、ひとつひとつの企業、ひとつひとつの市場についての研究で、「マクロ経済学」とは、経済全体、平たく言えば、国レベルでの経済現象(景気の変動や、失業の問題など)についての研究です。そして、国際経済学とは、海外との取引によって生じる様々なテーマ(為替レートの話や、貿易の問題など)についての研究です。</p> <p>さて、上の物語のうち、「恋愛物語」からは、主に、ミクロ経済学のお話をします。恋愛の駆け引きというテーマにも踏み込みたいと思います。「開発物語」では、主に、マクロ経済学、国際経済学の話をしていきます。この2つの物語は、「ケータイ」という道具を媒介して、結びつき、お互いに影響しあっています。</p> <p>この講義を通じて、経済や経済学を身近に感じていただければ幸いです。</p>					
(担当者プロフィール)					
<p>所 属 : 経済学部・経済学科</p> <p>主な担当科目: 国際経済学 ・ 、経済原論(マクロ) ・ 、研究演習、基礎演習</p> <p>研究テーマ : 南北貿易が先進国の労働市場に与える影響について、グローバル化と内生的経済成長の関係について</p>					

担当者	伊藤 治彦	講義名	法律学の学び方	分野	法学
(講義内容)					
<p>法律学を学ぶことは、ただ六法全書を丸暗記することではありません。何のために法はあるのか、どのような種類の法があるのか、それらの法は、どのように体系付けられているのか、また法にはどのような解釈方法があるのか、といったような基本的な事柄を理解していなければ、少なくとも法律上の論点を含んだ問題を解決することはできません。本講義では、手始めに何のために法はあるのかということ、実例を踏まえながら検討していきます。</p>					
(担当者プロフィール)					
<p>所 属 : 法学部・法学科</p> <p>主な担当科目: 行政法、地方自治法、研究演習、基礎演習</p> <p>研究テーマ : 行政手続</p>					

担当者	大國 仁	講義名	犯罪から暮らしを守る : 警察・検察・裁判	分野	法学
(講義内容)					
<p>一. 社会の成り立ちと治安 治安、すなわち社会の秩序を保ち人々に平穏な日常を保障することが、社会にとって如何に基本的な問題であるかを、治安の不安定な地域と対比しつつ考えてみる。</p> <p>二. わが国の治安状況 (一)最近の事例から 受講者にもよく知られている犯罪事件を例として(資料配付)、治安の維持に当たっている機関も一様でないこと、しかし体系的には、警察機関と検察の二系統に分かれることを講述する。 (二)治安状況の国際比較 統計資料(配布)をもとにして、国際社会の中での我が国の治安の現況を説明する。</p> <p>三. 警察機関の任務 二の(一)で引例した事件の中から適当な事件を選んで、治安維持制度の上での警察機関の位置付けとその現状を分かり易く解説する(資料として関係法令配布)。</p> <p>四. 検察と刑罰制度 犯罪の捜査、裁判そして刑の執行に至る三つの過程のそれぞれに、現在検察はどのようにかかわっているかを具体的に(資料として関係法令配布)説明し、結局刑罰制度の主役は検察であることを明らかにする。</p> <p>五. おわりに 我が国における近代的警察及び検察の成立史を略述し、合わせて「法曹」について簡単な解説を行う。</p>					
(担当者プロフィール)					
<p>所 属 : 法学部・法学科</p> <p>主な担当科目: 刑事訴訟法、法学</p> <p>研究テーマ : 治安維持機構の研究</p>					

担当者	小原 将照	講義名	「法学」体験	分野	法学
(講義内容)					
<p>大学で法律を学ぼう、と考えたときに、いったいどんなことを学ぶのか想像できるでしょうか？また、大学で法律を学んだ後、社会に出て行くとき、いったいどんな職業に就くことになるのか想像できますか？法学部あるいは法律学、という言葉をよく耳にする割には、その中でどんな講義が行われているのか、どんな学問なのか、将来どんな職業に就いているのか、といったことについては、ほとんど知られていないと言ってもいいのではないのでしょうか。そこで、この講義では、「法学」を体験することで、法学部で勉強することがどの様な感じなのかを知ってもらい、また、上述した知られざる部分についても焦点を当て、法学部あるいは法律学について興味を持ってもらえればと思います。以下は、講義の概要です。</p> <p>はじめに 大学で行われている講義についての説明。特に、高校までと大学とで大きく異なる教員の板書とノートの取り方について解説。</p> <p>1、法学とは 学問としての法学が扱っている対象の説明。法学という学問が、何を対象としているのか、ということを知ることで、法学の入り口を紹介する。</p> <p>2、法学体験 実際に法学部で学ぶことは、法律の知識であるが、それ以上に重要なことが法律的なものの考え方である。では、どのように物事を考えればよいのか、ということは、口で説明するのは非常に難しい。そこで、一つの事例を取り上げ、法律的なものの考え方を実際にしてもらうことにする。</p> <p>3、法学と将来の職業 法学部を卒業すると、将来、どんな職業に就くことができるのか。法律の専門家にはどのような職業があるのか。これらを簡単に説明する。</p> <p>おわりに 法学部の学生の生活について、特に、講義への出席、アルバイト、クラブ活動などを紹介する。また、質問があれば適宜対応する。</p>					
(担当者プロフィール)					
所 属 :		法学部・法学科			
主な担当科目:		民事訴訟法			
研究テーマ :		民事手続法、特に倒産手続に関する問題			

担当者	加藤 摩耶	講義名	児童虐待の現状と法的対応	分野	法学
(講義内容)					
<p>児童虐待の問題については、2000年5月に「児童虐待の防止等に関する法律」が制定され、2004年4月にその改正法が成立した。児童虐待は、同法において以下のように定義されている。</p> <p>第二条 この法律において、「児童虐待」とは、保護者(親権を行う者、未成年後見人その他の者で、児童を現に監護するものをいう。以下同じ。)がその監護する児童(十八歳に満たない者をいう。以下同じ。)について行う次に掲げる行為をいう。</p> <p>一 児童の身体に外傷が生じ、又は生じるおそれのある暴行を加えること。</p> <p>二 児童にわいせつな行為をすること又は児童をしてわいせつな行為をさせること。</p> <p>三 児童の心身の正常な発達を妨げるような著しい減食又は長時間の放置、保護者以外の同居人による前二号又は次号に掲げる行為と同様の行為の放置その他の保護者としての監護を著しく怠ること。</p> <p>四 児童に対する著しい暴言又は著しく拒絶的な対応、児童が同居する家庭における配偶者に対する暴力(配偶者(婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある者を含む。))の身体に対する不法な攻撃であって生命又は身体に危害を及ぼすもの及びこれに準ずる心身に有害な影響を及ぼす言動をいう。)その他の児童に著しい心理的外傷を与える言動を行うこと。</p> <p>児童虐待は近年頻繁にニュース等において報道され、特に2004年に大阪府岸和田で発生した、中学3年生を餓死寸前に追い込んだ虐待事件が記憶に新しい。しかしながら、尊属殺人規定を憲法14条違反とした1973年の最高裁大法廷判決の事案(実父による娘に対する性的虐待)においてもみられるように、児童虐待は決して突発的・時事的に生じた社会問題なのではない。事案としては昔から存在していたが、家庭内の問題であり、かつ被害者が年少で外に声をあげる力を持たないため表沙汰になりにくく、また子どもの権利に対する一般的な意識の希薄さから、重大な問題として注目されてこなかったという事情があったように思われる。</p> <p>子どもの生命の保護のためには、公共機関による積極的・迅速な対応が求められる反面、子どもの保護という名のもとに、国家が家庭のプライバシー・子どもの養育に介入することになるので、慎重かつ繊細な取り組みを要する。また、虐待事件の背後には、家庭の複雑な問題が関係している場合が多く、子どものケアのみならず、保護者に対するケアも重要な問題である。</p> <p>本講義では、このような児童虐待をめぐる現状と法の取り組みを示し、問題点を考察する。</p>					
(担当者プロフィール)					
所 属 :		法学部・法学科			
主な担当科目:		刑法			
研究テーマ :		刑法における同意・自己決定、 医事刑法			

担当者	倉持 弘	講義名	消費生活と契約	分野	法学
(講義内容)					
<p>現代の日本において私たちは、食料品・衣料品をはじめとして日常生活に必要なほぼすべての物品を購入することによって、日々の生活を営んでいる。「購入する」ということは、法的に言うならば、「契約を結ぶ」ということである。そして、この「契約を結ぶ」ということが、現代では先に述べたように非常に幅広くかつ大量に行われているため、契約をめぐるトラブルも非常に増えている。普通の生活をしている消費者に関連するものに限定しても、古典的な詐欺もあれば、マルチ商法などのいわゆる悪徳商法、通信販売や金融商品の販売をめぐるトラブルなどさまざまなものがある。詐欺については明治時代に制定された民法に規定があり、マルチ商法や通信販売については戦後に制定された特定商取引法(旧訪問販売法)に規定があり、そして近年、消費者をめぐる契約に関する一般的な法律として消費者契約法が制定された。それらについておおまかに解説することで、契約をめぐる各種のトラブルやそれに対する対処法などの知識を得てもらおうとともに、契約というものについて考えてもらうことが本講義の目的である。</p>					
(担当者プロフィール)					
<p>所 属 : 商学部・会計学科</p> <p>主な担当科目: 民法概説I・II、法学</p> <p>研究テーマ : 契約法</p>					

担当者	香山 忠志	講義名	暮らしと法律	分野	法学
(講義内容)					
<p>法律は、人々が共同社会を営むうえで守らなければならない約束事です。法律の基礎にあるのは、社会常識です。別に難しいことはありません。</p> <p>私は、大学では「労働法」を講義していますが、他面、現役の弁護士でもありますので、高校を卒業して2年後には大人社会の仲間入りをする皆さんに、経験した事例をもとに、連帯保証人の責任、交通事故の責任、恋愛や結婚生活のルールといった日常どこにでもあるような身近な問題について、守るべき社会生活上のルールを、平易な言葉でお話します。</p>					
(担当者プロフィール)					
<p>所 属 : 法学部・法学科</p> <p>主な担当科目: 労働団体法、労働保護法、研究演習、基礎演習</p> <p>研究テーマ : 雇用形態、賃金体系と男女同一賃金原則</p>					

担当者	下田 大介	講義名	契約締結における未成年者の保護		法学
(講義内容)					
<p>私たちの社会における取引関係は、自由な交渉のすえに結んだ約束である「契約」をつうじて築かれており、契約が一方的にキャンセルされたり、守られなかったりすると、社会は混乱する。例えば、商品が届かなかったらスーパーの店長は困ってしまうし、出演するはずのタレントが現れなかったらテレビ局のディレクターは迷惑をこうむることになる。したがって、「契約は守られなければならない」のであり、契約の相手方が約束を守らないことが不当である場合には、裁判所の手を借りて、契約の内容を強制的に実現させたり、損害を弁償させたりすることができる。そうなったとしても、契約は当事者自らが結んだ約束であるから、契約違反をした者は、文句を言えないであろう。</p> <p>ところで、資本主義のもとでは、いわば「食うか食われるか」の競争が行われており、そのような中で「食べ物にされない」ためには、ある程度の判断能力が必要である。そのため、経済取引を行うための判断能力が十分でない者であっても、いったん契約を結んだ以上それを守らなければならないということが、その者にとって酷である場合がある。そこで、法は、いくつかの救済制度を設けているが、この講義では、それらのうち、未成年者が、締結した契約を、後からキャンセルできる制度について、その趣旨と範囲を解説する。</p> <p>なお、時間があれば、その他の消費者保護のためのいくつかの制度も紹介したい。</p>					
(担当者プロフィール)					
<p>所 属 : 法学部・法学科</p> <p>主な担当科目: 民法</p> <p>研究テーマ : 不法行為法</p>					

担当者	砂川 和泉	講義名	国際社会における法のかたちとはたらき	分野	法学
(講義内容)					
<p>地球上のすべての国家から成り立っている国際社会には、国内社会のような議会や政府は存在しません。したがって、国際社会の法である国際法は、国内社会の法である国内法とはまったく異なる性質を持っています。</p> <p>この講義では、国際法がどのようにして作られ、どのような働きをするのかについて、高等学校までに学習するわが国の立法・行政・司法の仕組みと比較しながら解説します。</p>					
(担当者プロフィール)					
<p>所 属 : 法学部・法学科</p> <p>主な担当科目: 国際法</p> <p>研究テーマ : 国際司法裁判所に関する諸問題</p>					

担当者	西浦 公	講義名	憲法の学び方	分野	法学
<p>憲法の意味とその特質に基づいて憲法の学び方を解説する。</p>					
<p>(担当者プロフィール)</p> <p>所 属 : 法学部・法学科</p> <p>主な担当科目: 憲法</p> <p>研究テーマ : ドイツ憲法学説の研究</p>					

担当者	小松原 実	講義名	情報技術とネットワーク	分野	統計・情報
<p>(講義内容)</p> <p>情報ネットワークを支える技術は、いろいろな分野に応用されうる可能性を持っている。本講義ではネットワーク通信の基礎と、その教育工学への応用例をとりあげて解説する。</p> <p>1. プロトコルとは。 2. 通信を行なうサーバーとクライアント。 3. データはどのように送られるか。 4. 教育支援システムの実例の紹介。</p>					
<p>(担当者プロフィール)</p> <p>所 属 : 商学部・商学科</p> <p>主な担当科目: 情報技術論、マルチメディア技術、マルチメディア表現</p> <p>研究テーマ : ネットワーク技術を用いた教育支援システムの開発</p>					

担当者	田中 潔	講義名	おかやま統計と地理情報システム(GIS)	分野	統計情報
(講義内容)					
<p>Webやネットワークの発展によって地域に関するさまざまな数字が掲載されるようになりました。地域を知る手がかりとしてこれらの情報を上手に活用してみましょう。</p> <p>また、最近では地理情報システム(GIS)が急速に発展してきました。緯度経度などの位置情報を組み合わせることによりさらに高度な地域分析が行われるようになってきました。岡山県に関連する商業や経済の動向をとらえてみましょう。</p>					
(担当者プロフィール)					
<p>所 属 : 商学部・商学科・ビジネス情報専攻</p> <p>主な担当科目: 情報ネットワーク論、情報システム論など</p> <p>研究テーマ : 岡山地域に関する地域分析と統計情報のシステムに関する研究</p>					

担当者	埜村 紳二	講義名	政治を考えるヒント	分野	政治学
(講義内容)					
<p>1. ミクロの政治</p> <p>(1) 家庭にも「政治」がある ?</p> <p>(2) クラブやサークルは「直接民主制」 ?</p> <p>(3) 生徒会は民主主義の予備校 ?</p> <p>(4) 近所付き合いや職場は ?</p> <p>2. マクロの政治: どうやっても逃げられない政治空間</p> <p>(1) 政治権力って何 ?</p> <p>(2) 「国民の国民による国民のための政治」って難しい! ?</p> <p>(3) 誰が(何が)日本の政治を動かしているの ?</p> <p>3. 政治を文化という視点からみてみよう: 政治は一人一人の生き方の延長線上にある</p>					
(担当者プロフィール)					
<p>所 属 : 法学部・法学科</p> <p>主な担当科目: 政治学入門、政治史、政治学、外国史概説、教養演習、研究演習</p> <p>研究テーマ : 福祉国家の比較政治学的研究 米国の日本占領政策に関する研究</p>					

*受付番号	
-------	--

*受付日	年 月 日
------	-------

年 月 日

岡山商科大学

学長 井 尻 昭 夫 殿

高等学校

校長

出 前 講 義 依 頼 書 (高校生対象)

出前講義として、下記の講義を依頼いたします。

第1希望	講義担当者名	_____
	講 義 名	_____
	講義番号	_____番
第2希望	講義担当者名	_____
	講 義 名	_____
	講義番号	_____番
講義受講者数	_____人	
講義希望日	_____年 月 日 (曜日)	
講義希望時間	_____時 分 ~ _____時 分 (時間 分) (講義日・時間は、後日調整させていただく場合もありますのでご了承ください。)	
その他希望事項	_____	

高等学校 担当者名 _____

担当者連絡先 _____

以 上

担当部署：教務課 連絡先 Tel 直通 086-256-6653
Fax 086-256-6649

*大学必要事項記載欄

(このページをコピーしたものをご使用ください。)